

# 十勝うらほろ創生 キャンプ(TUS)だより vol. 22

広報担当：佐々木すみれ（地域おこし協力隊）、伊場遥（十勝うらほろ楽舎）

## オンラインSDGsツアーを 浦幌で実施しました！

滞在交流の質を上げて、  
チャンスを増やす

今年度より浦幌町では、新たに滞在交流事業に取り組んでいます。町での滞在をより価値のある内容にすることによって、町への人や企業などの関わりを増やしていくことを目指しています！

その一環として、7月27日にオンラインでのSDGsツアーが浦幌町を舞台に実施されました。

このツアーは、NPO法人サステナビリティ日本フォーラムが主催するツアーです。浦幌町の「次世代に繋いでいくまちづくり」の取り組みが、フォーラムのテーマであるサステナビリティ（持続可能性）に繋がることからお声掛けいただき、実施に至りました。

### オンライン

SDGsツアーとは  
今回のオンラインツアー

浦幌で実施しました！

アーでは、浦幌町の皆さんや町外から町に関わる皆さん総勢15名にご協力いただき、それぞれの視点から、どのような思いで浦幌町に関わっているかを話していただきました。また、このツアーにはSDGsに関心のあるさまざまな企業の方が参加され、町に関わる多様な人々の思いを通して、浦幌町の魅力を感じていただく機会となりました。

ツアーの参加費は無料でしたが、町に来て頂くきっかけとして、町の特産品で山セット、海セット、オーガニックコスメットを作り、販売しました。

今回はオンラインでの実施でしたが、今後は浦幌現地に足を運んでいただく機会も作っていく予定です。ぜひ滞在交流事業の取り組みにご注目ください！

## 参加者の声

若者が挑戦する姿、それを応援する大人の姿についてお話を聞くことができとても良い経験になりました

想いをつないで未来を創るという言葉がとても素敵だと感じました！

## 事務局からの声

事業会社9社含む32名で訪問させていただき「自分の生き方を含めてとても考えさせられるツアー」「実際のうらほろスタイルの授業を見学したい」「次世代を大切にす町であることに感激」との感想が続々入っています。この度はありがとうございました！

NPO法人サステナビリティ日本フォーラム  
事務局次長 阪野朋子さん



# 農業 プロジェクト

## 畑を始めました！

今年度より新たに、農業プロジェクトの取り組みを始めました。今は主に畑で大麦を育てています。「なぜ畑を？」と思われた方もいらっしゃるかもしれませんがね。

わたしたちが農業に取り組む理由は大きく2つあります。1つ目は、これまで浦幌町内であまり栽培されていなかった作物の試験栽培にチャレンジし、新たな特産品を開発すること。2つ目は、このプロジェクトを町民の皆さんや浦幌町に興味をもってくださいの方々と一緒に取り組む場にしたいということです。



始めたきっかけは、ある日の集まりでした。町内外の有志で話し合つ中で「浦幌産の自然栽培大麦による特産品ビールをつくろう！」ということになりました。

町内の畑で大麦栽培からビールをつくるプロセスに、多くの浦幌町民の皆さんや町に縁を持つ町外の方にワイワイ楽しみながら関わっていただくことで、作物だけでなく立場や世代を超えて交流するコミュニティが育まれることを目指しています！



7月末現在、浦幌町の農耕地を一部お借りして、大麦をメイロンに育成中です。大麦はビールに加工して使用する予定です。雨天が続いたり他の仕事が忙しかつたりで、なかなかタイミンがよく畑に行くことができず、雑草がたくさん生えてしまうこともありました。多くの皆さんのご協力をいただき、楽しみながらコツコツと農作業に励んでいます。

飛び入り参加も大歓迎です。で、ご興味のある方は十勝うらほろ樂舎までご連絡ください！

